

そして廃線へ…



昭和40年代になると車
が普及し始め、鉄道利用者
数に影響が出てきました。
大隅線は昭和40年の一
日の乗降客1万8千58
人をピークに年々減少
し続け、昭和59年には
6千715人と激減。高
山駅は、昭和40年の乗降
客2千108人が最高で、
昭和59年には456人と
なりました。

このような状況のなか
で、昭和56年3月11日に日

本国有鉄道再建特別措置
法が公布され、大隅線も廃
止対象に。そして昭和62年
3月13日をもって廃止と
なり、長い歴史の幕を閉じ
ました。国分までの全線開
通から、わずか15年後の出
来事でした。

現在の高山駅跡は公園
として整備され、駅舎もそ
のままに保存されていま
す。中には当時を偲ぼせる
駅員の制服や写真などが
展示され、公園の敷地には
レールも残されています。

廃線から30年という節
目の年。この機会に足を運
んでみてはいかがでしょ
うか。

あなたの青春時代を思
い起こさせる素敵な発見
があるかもしれません。



廃線30周年を記念して
制作した動画です。